

全日本企業対抗ゴルフトーナメントダブルスクランブル大会ルール
～全予選・全国決勝大会共通～

1. ゴルフ規則

大会ローカルルール及び日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2016を適用する。

※2019年1月1日以降、「JGAゴルフ規則2016」は「JGAゴルフ規則2019」と読み替えることとする。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. 使用球についての規格及び規則

R&A公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。

4. キャディとカート

各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。（徒歩プレーの会場除く）
大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。違反があった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打まで。

4-2. セルフプレーの会場

キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の

1番の選手は1番目のホールから5番目のホールカートのリモコンを操作する。

2番の選手は6番目のホールから9番目のホールカートのリモコンを操作する。

3番の選手は10番目のホールから13番目のホールカートのリモコンを操作する。

4番の選手は14番目のホールから18番目のホールカートのリモコンを操作する。

但し、お互い了解の上各チーム9ホールずつカートのリモコンを操作する場合はカートのリモコンを操作する順番をじゃんけんで決めることができる。

5. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。

（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）

6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定

■全チームが9ホールズを消化している場合→競技成立

■全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立

本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。

・チームスコア9ホールズの合計で、OUT、INそれぞれの順位を決定いたします。

・チームスコアが同スコアの場合は9番目にプレーしたホールからのカウントバックで決する。

※短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんので予めご了承くださいませ。

7. アドバイス

プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

8. 第2の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

9. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、指定練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

10. メンバー変更について

出場メンバーは最初の予選通過時のメンバーから大会全体を通して1名までの変更が可能。

11. クラブに関して

JGA付属規則IIの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル

(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。

※「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

12. 距離測定機について

距離測定器の使用は認める。

但し、勾配や風速・風向を計測する機能を有する機器の使用は認めない。

例) レーザー距離測定器で高低差が表示されるもの→使用不可(勾配を計測している)

例) スマホ等携帯電話アプリの使用は、距離測定機能の他の分析機能を有する機種が多く疑わしい行為となり、他の選手の気を散らす原因になるので禁止とする。

13. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各会場の大会ローカルルールで定める。

14. コールオン

(後続組先打たせ)方式についてやむを得ない場合は使用する。

15. プレー速度についての規則（重大なマナー違反）

スロープレーには2打罰が科される。その後更に同じ違反があった場合は競技失格。

<スロープレーに関するガイドライン>

スロープレーとは前の組と15分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。あるホールで前の組と15分以上離れてしまって、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで15分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。また、前半9ホールズを前の組より15分以上遅れてホールアウトし、後半の9ホールズも前の組と15分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。

※通常、前の組との間隔は7分～8分です。

16. タイスコア時の決勝方法

■タイスコアの場合はOUT、INなどのスタート順に関わらず

18番ホール（スコアカードの最後のホール）よりカウントバックで決する。

※それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

17. 全国決勝が競技不成立になった場合

■全国決勝大会において、険悪な気象条件等で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。

18. チーム編成とティショットの制限

1 チーム2名のティショットにおいて18ホール（Par3含）ラウンド中、1人5ホール以上のティショットを選択しなければならない。チーム内のパートナーの1人が欠場した場合は、1人5ホールのティショットを選択する条件は適用しないものとする。欠場していたパートナーが途中出場、または出場していたパートナーが途中棄権した場合、そのパートナーが最低5ホールのティショットを選択する条件をクリアしていれば、罰打は課さない。

19.1 ペア2名がティショットを打ち、セカンドショット以降はその中からチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から2人が打つ。

これをカップインまで繰り返す。カップインした時点でスコアは確定する。

※先の打順のプレーヤーのショット又はパットがカップインし、スコアは確定した場合は、以降の打順のプレーヤーがショット又はパットをすることができない。

20. ティショット～グリーン

1. ティショットは1ペア2名が打つ（男性と女性はティが異なる）

2. セカンドショット以降はペアのベストポジションと思われるボールを選択する。

3. その他のボールは速やかにピックアップし、選択したベストポジションにティペグでマークをする。そのティペグからホールに近づかない半径30cmの半円の中に自分のボールをプレースし、ペア2名が打つ。

4. 打順はペア内で決めることができる。

- 5.バンカー内のボールを選択した場合は 1 人が打つごとにそのバンカーは均すことができる。
- 6.マークしたティペグは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないこと。
- 7.マークやティペグを誤って取り除いてしまった場合、無罰でマークやティペグをもとの位置に戻してプレーを再開しなければならない。

2 1.グリーン上

- 1.グリーン上でも採用するボールを選択する。
- 2.そのボールをマークしホールへ近づかない半径 15 cmの半円内にボールをプレース。
- 3.ペア内がカップインした時点でそのホールのスコアが確定。
- 4.マークは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないこと。
5. マークやティペグを誤って取り除いてしまった場合、無罰でマークやティペグをもとの位置に戻してプレーを再開しなければならない。

平成 30 年 8 月 15 日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会